

出題予想論点の総整理! 直前期対策講座の決定版!

本試験までの残り3ヵ月間で、合格に必要不可欠な「択一式試験」の最終チェックを行う講座です。

出題が予想される論点に的を絞り、多肢択一式の演習を通して出題予想論点の総整理、解法テクニックを学習します。

解説レジュメは各論点の重要事項を整理しやすいように表などを掲載しており、直前期の総まとめとして、

また、出題予想対策として最適な教材をご提供します。

出題実績及び予想

「出題予想論点」を提示。
時間の限られた直前期に、
どの論点を中心に学習す
べきか、やるべきところは
どこかをはっきりさせ、復
習効率を高めます。

示。期に、習するは、復

第X章

物上代位

1 出資実績及び予想

(1) 出資実績

期 間	内 容
H24-13-1	私貨資料帳簿に対する物上代位権の行使の可否
H24-13-2	私貨業者による物上代位権の行使と目的債権の譲渡
H24-13-3	資料帳簿に対する物上代位権の行使の時期
H24-13-4	譲渡前後に基づく物上代位権の行使の時期
H24-13-5	「売渡」の概念（譲渡論議）
H24-13-6	私貨買付債権に対する物上代位権の行使の可否（譲渡論議）
H24-13-7	金融売買の先売債権に基づく物上代位権の行使の可否
H24-13-8	私貨業者による物上代位権の行使の可否
H24-13-9	私貨業者による受取人との家賃
H24-13-10	資料帳簿に対する物上代位権の行使と目的債権の譲渡
H24-13-11	私貨業者による物上代位権の行使と目的債権の譲渡（譲渡論議）

(2) 出資予想

近年、物上代位権を題材とする問題の出題が連続しているため、出資可能性は、高い。
そのため、物上代位権に関する判例、見解、お話を挙げて、結論のみならず理由も含めて、丁寧に押さえておく必要がある。

1

論点解説

重要論点を表などで
わかりやすく掲載。知識
の整理を容易にし、理解
をさらに促進させます。こ
のレジュメの表を活用し
て、自分のオリジナルノー
トを作成することもでき
ます。

[illegible]

問題・解説

本試験と同形式の「多肢択一式」問題の演習を行います。この演習問題を通して、出題予想論点の総整理を行うとともに、「解法テクニック」を学習するので、本試験当日の効率的な問題の解き方が身につきます。

[illegible]

演習しておくべき過去問・設問別問題

復習用として、一問一答式問題もご提供いたします。あわせて、関連する過去問番号も提示されているので再度過去問を振り返るとともに、出題が予想される論点の問題を集中して復習することができます。

一 方式
します。
る過去
ている
振り返
予想さ
集中し
できま

6 設問別問題

1 第三者が相当不動態を醸成させた場合において、これが不当行
あとなるときは、相当権者は、相当権設定者の名を以て所有権
承継に対して物上代償権を行使することができる（第12-11）。

2 Aは、Bのために、自己が所有する土地に抵当権を設定した場
に、当該土地に建物を買付た。Bは、当該建物の所有は、当該建物
の滅失によりAが取得する所有権金支払請求権に及ばない
（第12-12）。

相当権者は、相当不動態の
所有権金支払請求権に相当代
償権を行使することができ
るが（第12-11）、本問
において、相当権は建物
に設定されている（C）。

（大判大民6.6.21）（C）

6